

ニュースクリップ & 映像教材

■「教育映像祭 優秀映像教材選奨」および「全国自作視聴覚教材コンクール」作品募集開始

日本視聴覚教育協会では、このほど例年実施している2つのコンクールの作品募集を開始した。「教育映像祭 優秀映像教材選奨」（下記協会情報）は昭和29年より、「全国自作視聴覚教材コンクール」（24頁）は、昭和49年より開始され、それぞれ66回、46回となる。詳細は、<http://www.javea.or.jp/>を参照のこと。

協会情報

■「令和元年度教育映像祭 優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は「教育に利用される映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に開催される。

小学校（幼稚園含）、中学校、高等学校部門においては、【教育映像】（映画・DVD等）及び【教育デジタルコンテンツ】（コンピュータ ソフトウェア）の別により審査を行う。社会教育部門、職能教育部門、教養部門は、【教育映像】のみとする。

<部門> 1. 小学校（幼稚園含） 2. 中学校 3. 高等学校 4. 社会教育（家庭生活向・市民生活向） 5. 職能教育 6. 教養 ※1社の参加本数は【教育映像】は制限なし。【教育デジタルコンテンツ】は、それぞれ3本以内。

<参加条件>平成30年6月1日～令和元年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの。

<表彰> ○最優秀作品賞（文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞） ○優秀作品賞（日本視聴



写真・昨年の映像祭での表彰式の様子

覚教育協会会長賞)

<締切>令和元年6月3日(月)までに、出品申込書と併せて、作品を申し込むこと。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.javea.or.jp/fes/index.html>

<問い合わせ先> (一財) 日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

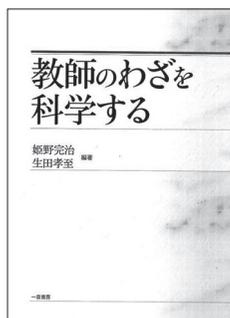
文部科学省情報

■「新時代の学びを支える先端技術の活用推進方策（中間まとめ）」について

文部科学省では、昨年11月、新時代の学びを支える先端技術のフル活用に向けた基本的な方向性を、「柴山・学びの革新プラン」として公表し、これを踏まえ、先端技術の活用方策の具体化の検討を進め、このほど中間まとめとしてとりまとめた。公教育や教師の役割の重要性を踏まえつつ、先端技術の効果的な活用を通じて「子供の力を最大限引き出す学び」を実現する目指すべき次世代の学校・教育現場を具体的に提示するとともに、現状と課題を整理した。引き続き、教育再生実行会議における議論の結果等も踏まえながら、最適な先端

■ ブックレビュー

「教師のわざを科学する」



姫野完治 / 生田孝至
編著
一菴書房 発行
2019年2月25日刊
A5判、280頁
2,000円(税別)

なぜこれほどまで「わざ」にこだわるのか。3年前に刊行された『未来を拓く教師のわざ』に続く本書を手にとっての率直な感想である。両書に登場する斎藤喜博は昭和の時代に名を残す著名な教師の一人であり、彼の「わざ」(「見る」「見える」)に対してあこがれを抱く教師も多くいた。あこがれがあればこそ「わざ」を学び磨こうとした。しかし誰もが斎藤喜博のような授業を展開できたわけではない。あこがれるだけでは身につかない「わざ」というものに、科学することを通してアプローチしたのが本書である。「教師の『ことば』と『語り』を科学する」、「教師の『ふるまい』を

科学する」、「教師の『みえ』を科学する」といったように、ほぼすべての章のタイトルに「科学する」という言葉が用いられている。教師のわざに対する編著者の良心と熱い思いがこの言葉には込められている。最近、指導主事や研究指導主事の指導助言に頼りなさを感じたり、学校自身に授業改善の意識が低下したりしているなどの理由により、指導主事を真に必要とする雰囲気が学校現場には薄れているとの指摘がある。指導主事は授業改善の専門家でありプロである。プロとは自分自身の欠点や短所を改善することに努め進んで先達の叱正を乞い、アマの批判からも謙虚に反省の手がかりを得るものではないか。自説に共鳴しない教師を軽視したり、おだてや追従を喜んだりするような指導主事であれば、もはや指導主事の名には値しない。学校現場をよく理解していない研究者はもちろんのこと、明らかに勉強不足と思われる指導主事や研究指導主事にもぜひ一読を勧めたい。書名の『教師のわざを科学する』とは、研究者のみならず指導主事にも向けられた言葉と解すべきであろう。(淑徳小学校長 多田元樹)

技術の効果的な活用に関する具体的な方策を検討していく。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/other/1411332.htm

<問い合わせ先> 初等中等教育局初等中等教育企画課 TEL 03-5253-4111 (代表)

■ 学習者用デジタル教科書実践事例集の策定について

文部科学省は、学校現場の教職員や教育委員会において学校教育を担当する職員に向けた標記事例集を公開した。本事例集は、学習者用デジタル教科書の効果的な活用のポイントや学習効果を高める工夫について、デジタル教材や他のICT機器を活用した授業展開を例示しながら紹介している。

詳細は、下記を参照のこと。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1414989.htm

<問い合わせ先> 文部科学省初等中等教育局教科書課 TEL 03-5253-4111 (代表)

AV情報

■ New Education Expo2019未来の教育を考える

New Education Expo実行委員会 ((株) 内田洋行他) 主催により、標記セミナーが開催される。
<日時> 令和元年6月6日(木)～8日(土)(東京会場)、6月14日(金)・15日(土)(大阪会場)
2会場とも、9:30～18:00

※東京会場開催のセミナーを札幌、旭川、盛岡、仙台、名古屋、広島、福岡、宮崎、沖縄のサテラ

■ブックレビュー

「小学校プログラミング教育の 研修ガイドブック」



小林祐紀／兼宗進／
中川一史著
翔泳社 発行
2019年3月22日刊
B5判、112頁
2,500円(税別)

2020年度から全面実施となる小学校プログラミング教育に向けて、教員研修が重要であることは言うまでもない。本書は、その教員研修を計画・実施する立場の方々にぜひ読んでいただきたい一冊である。もちろん、プログラミング教育について理解を深めたい先生方にもお勧めの本である。本書の特長は、具体的な研修事例が豊富に紹介されていることであるが、それだけではない。まず、小学校プログラミング教育のねらい、そして、プログラミング教育を実施する教科・領域のねらいとプログラミング的思考の関連はどうか、授業を行う前に先生方が知っておくべき内容を解説している。

次に、教員研修の在り方を解説している。この内容は、プログラミング教育に限定したものではなく、教員研修とはどうあるべきかをさまざまな知見を交えて示している。教員研修で大切なことは、研修に対する満足度が高いことだけではなく、研修内容が日常的な教育実践につながることであったとして、対象となる教員のニーズを把握することの重要性が述べられている。また、小学校教員の経験がある筆者だからこそ分かるノウハウも紹介しており、魅力的な研修を進めていくためのヒントとなる。さらに、小学校のプログラミング教育と中学校、高等学校のプログラミング教育とのつながり、プログラムを実行する順番や処理の流れとしての「手順」の解説も、プログラミング教育の全体像を理解する上で重要である。これらの解説の後には、約30の研修事例が紹介されている。プログラミング教育の理解、プログラミングの体験、授業づくりや年間指導計画の作成などの研修事例はすぐに活用できるものである。

来年度からのプログラミング教育全面実施のためには、今から研修を進める必要がある。本書を参考にぜひ教員研修をスタートさせてほしい。(富山大学大学院准教授 長谷川春生)

イト会場に配信予定。

<会場>東京ファッションタウンビル(東京都江東区有明3-1)、大阪マーチャングイズ・マート(大阪府大阪市中央区大手前1-7-31)

<内容>基調講演・特別講演、学校の実践事例発表、セミナー、最新の教育関連展示など。

<問い合わせ先>New Education Expo実行委員会事務局(株)内田洋行教育総合研究所内
TEL 03-5634-6397

■技研公開2019

NHK放送技術研究所は、「ワクからはみ出せ、未来のメディア」をテーマに研究所を公開する。

<日時>令和元年5月30日(木)～6月2日(日)
10:00～17:00入場は終了の30分前まで。

<会場>NHK放送技術研究所(東京都世田谷区砧1-10-11)

<内容>基調講演「身体の未来 拡張現実感から人間拡張工学へ」「空間表現を広げる視覚のしくみ」、ARを活用したテレビ視聴スタイルなど研究成果を展示予定。

<問い合わせ先>NHK代表 TEL 03-3465-1111

コンクール情報

■映文連アワード2019作品募集中

短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能を担うことを趣旨に、(公社)映像文化製作者連盟では、作品を募集している。<部門>コーポレート・コミュニケーション、ソーシャル・コミュニケーション、パーソナル・コミュニケーションの3部門。

<応募要件>平成30年4月1日～平成31年3月31日までに完成した作品。作品の上映時間は原則として60分以内。メディア・手法は、映画・ビデオ、テレビ番組(地上波テレビ番組以外)等。<賞>最優秀作品賞(グランプリ)、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞各1点他。

<締切>令和元年5月31日(金)消印有効。

<問い合わせ先>(公社)映像文化製作者連盟
TEL 03-3662-0236

文部科学省選定作品

■3月選定 紙紙しばい [D]DVD [B]Blu-ray

「おはよう! おはよう!」[紙]8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「東京湾の漁業 小型底引き網漁」[D]17分<高等学校、水産/成人、職業の知識技術(農業・畜産・水産業)>(株)クワッド

「東京湾の漁業 ホンビノスガイ漁」[D]17分<高等学校、水産/成人、教養・情操(産業紹介)>(株)クワッド

「がん健康教育シリーズ 子どもが大人をカエル①たばこ篇 家族も街もぼくらが守る!」[D]9分<少年、健康・スポーツ(保健・衛生)>(公財)札幌がんセミナー

「がん健康教育シリーズ 子どもが大人をカエル②運動篇 運動習慣が体をカエル!」[D]9分<少年、健康・スポーツ(健康・体力づくり)>(公財)札幌がんセミナー

「がん健康教育シリーズ 子どもが大人をカエル③食事篇 毎日の栄養バランス大丈夫?」[D]9分<少年、健康・スポーツ(健康・体力づくり)>(公財)札幌がんセミナー

「がん健康教育シリーズ 子どもが大人をカエル④いのちと健康篇 大切な家族とずっといつまでも」[D]10分<少年、健康・スポーツ(生命問題)

>(公財)札幌がんセミナー

「あなたの老後の資金が奪われる!従来型オレオレ詐欺 キャッシュカード交付型詐欺 架空請求詐欺」[D]24分<成人、地域社会生活(交通安全・防犯)>(株)映学社

「ピア～まちをつなぐもの～」[B]99分<少年・青年・成人、教養>(株)ワンダーラボラトリー

「がんと生きる 言葉の処方箋」[D]90分<青年・成人、教養>がん哲学外来映画製作委員会

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

短信

■文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課の異動 平成31年4月1日付

○専門官(併)外国語教育推進室室長補佐 佐藤由郎氏→文教施設企画・防災部施設助成課専門官
○専門職 宮田緑氏→大臣官房総務課専門職(併)内閣府公益認定等委員会事務局審査監督調査官(併)内閣府大臣官房公益法人行政担当室主査
○庶務係長 宇佐美大輔氏→大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課指導係長○外国語教育推進室企画調整係長 榎木 渉氏→大臣官房人事課総務班専門職(併)復興庁統括官付参事官付主査○外国語教育推進室事業推進係長 小野美智子氏→宮城県立中学校○外国語教育推進室専門職 富高雅代氏→国立教育政策研究所研究開発部教育課程調査官(併)外国語教育課外国語教育推進室教科調査官(併)教育課程課教科調査官(命)学力調査官○情報教育振興室専門職(情報モラル教育等担当) 村中田博氏→宮崎県教育庁○国立大学法人埼玉大学 新井敬二氏→専門官(併)外国語教育推進室室長補佐○初等中等教育局特別支援教育課支援第二係長 水之浦聡氏→庶務係長○スポーツ庁政策課参事官(民間スポーツ担当) 付 宇治有芽里氏→外国語教育推進室企画調整係○西脇市教育委員会 荒川優子氏→外国語教育推進室事業推進係長○北海道立高等学校 佐々木康希氏→外国語教育推進室専門職○宮崎県教育委員会 小玉隆盛氏→情報教育振興室専門職(情報モラル教育等担当)